

研究課題名：Stanford A 型大動脈解離における人工心肺中の最低 Hematocrit 値と急性腎障害の関連

所属(診療科)：麻酔科

研究責任者(職名)：千葉 圭彦 (医師)

研究期間：2021 年 3 月 1 日～2025 年 12 月 31 日

研究目的と意義：

大動脈解離の治療成績は近年改善されてきていますが、未だに死亡率・合併症率は高い疾患となっています。死亡率・合併症率を増加させる因子の一つとして急性腎障害が上げられますが、原病による影響・人工心肺による影響・輸血の影響など様々なことが組み合わさり引き起こされることが知られています。大動脈解離以外の手術では人工心肺中の最低 Hematocrit 値が腎臓に及ぼす影響が検討されていますが、大動脈解離では報告がありません。今回、我々は過去に当院で施行した大動脈解離手術のデータをカルテで解析し、人工心肺中の Hematocrit が腎臓やその他臓器に及ぼす影響を検討します。

研究内容：

- 対象となる患者さん 2009 年 1 月から 2020 年 12 月までで当院で Stanford A 型の大動脈解離の手術を施行した患者さんが対象です。
- 利用する情報/資料 年齢、性別、既往症、臨床症状、血液検査結果、画像情報、手術結果、治療方法、治療後の転帰・予後など。
- 研究方法：本研究は 2009 年 1 月から 2020 年 12 月までに当院で行われた Stanford A 型大動脈解離を人工心肺中の Hematocrit 値でグループ分けを行い、後ろ向き観察研究を行います。データはカルテ上から収集し、短期・長期成績を検討します。術前の併存疾患、心機能、手術時間、大動脈遮断時間、人工心肺時間、合併症、ICU 滞在日数、在院日数、術後腎機能、長期生存率などを検討します。

問い合わせ先：

【研究担当者】

氏名：千葉 圭彦

住所：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36

電話：046-823-2630 FAX：046-827-1305

受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)